

校長だより

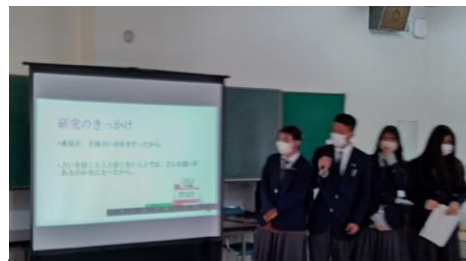
兵庫県立伊川谷高等学校

December 23th, 2022

課題研究発表会を校内外で行いました

12月21日（水）に2年コミュニケーション類型の生徒が取り組む課題研究の成果を披露する発表会を本校および神戸学院大学で行いました。本校の課題研究は、コミュニケーション類型の2年生徒が履修する「コミュニケーション応用」の科目の中で、今年度より本格的に取り組んでいるものです。当日の午前中に行われた本校での発表会は、プレゼンテーションを行う会議室をスタジオにして、発表の様子を2年生の全教室にZOOMで配信し、2年生徒が視聴、参加する形式で行いました。各班の発表後には、教室で視聴した生徒から出た質問に対し、スタジオの発表者が回答しました。発表後は、ゲストとしてお招きしたコープこうべの方から温かいアドバイスをいただきました。

午後、神戸学院大学有瀬キャンパスに移動した生徒らは、同大学の講義室を会場とし、年度当初より課題研究の指導をしていただいての関谷教授と同教授のゼミ所属の20名近くの学生を前に発表を行いました。発表後には、学生からの質問を受けるとともに関谷教授より、各研究にあたって取材、実験などが精力的に行われていることを評価していただくとともに、発表が堂々としていた、などのコメントをいただきました。



課題研究の校内での発表を行う2年生徒の様子



発表後に神戸学院大学関谷教授よりアドバイスを受けている生徒

発表順	課題研究テーマ
5 班	人が住みたくなる街とは
3 班	レディースデーってなんであるん？
2 班	夜の学校前の横断歩道で車はなぜ停まってくれないのか
1 班	占いを信じる人にはどんな傾向がみられるのか
6 班	地元で愛されるお店とは～個人経営の⑨にせまる～
4 班	伊川谷の犯罪件数を減らすには

国際理解シンポジウムを行いました。

12月22日（木）、本校で国際理解シンポジウムを行いました。フィリピン出身の本校卒業生、中国からの留学生、ウクライナ出身の大学教員、アメリカ出身の本校ALT、本校生徒会長の計5名がパネリストとなり、NPO サポートセンター神戸の方の進行のもと、シンポジウムを行い、同時にこの様子を全教室に配信し、全校生が視聴しました。また本校の卒業生が各教室に行き、スタジオと教室とのスムーズな情報のやりとりの手伝いをしてくれました。

シンポジウムは、各国の主食やおすすめの料理として、フィリピンのバナナを春巻きの皮で巻いた料理や中国（広東）料理の腸粉、アメリカのバファローウィング（辛いソースをからめた鶏の手羽の素揚げ）などの紹介がありました。また各国の「フードロス」問題や対策について意見が出ましたが、そもそも国際的には「フードウェイスト」と呼ばれているという紹介がありました。その上で、ウクライナでは、食材の有効利用のため、ビーツの茎をペースト状にしてパンに塗っていると聞いた話やアメリカでのコンポストを活用し、肥料をつくる取り組みや中国でフードウェイストを取り締まる法律が施行されているといった例が紹介されました。とても学びの多い、有意義な時間となりました。



中国からの留学生がおすすめの中国料理を紹介している様子